



東陽病院産婦人科医師

伊地知 幹雄

健康ウォッチング

みなさんこんにちは。昨年4月より東陽病院で産婦人科を担当している伊地知です。難しい名前かもしれませんが「イジチ」と発音し、出身の九州鹿児島にはわりとよくある名字です。

さて、みなさまやみなさまの家族の中には現在妊娠している方や、妊娠を希望している方がたくさんいらっしゃると思います。「妊娠は病気ではなく自然の経過なのだから大丈夫」と安心していられる反面、流産とか妊娠中毒症とかいったいろいろな異常を耳にして、「私の赤ちゃんは本当に大丈夫かしら」と不安を抱えているのが大部分の妊婦さんでしょう。お母さんが同居していたり、近所に住んでいたたりすればお母さんの経験が聞けますし、本屋さんに行けば豊富な絵や写真入りで解説した妊娠・育児に関する本がたくさん並んでいます。また町の保健センターでは妊娠・出産・育児についての教室が開かれているようです。このようにさまざまなお話ができる、いろいろな話を聞くことができると思います。私たちが東陽病院産婦人科でも、私たちの町の妊婦さんがより良い妊娠・分娩が安心してできるように母親学級を開催することにしました。

母親学級開催のご案内

正常妊娠の成り立ちや妊娠初期の異常（子宮外妊娠・切迫流産その他）など、妊娠のおおまかな経過と、よくある代表的な症状についてお話ししたいと思います。つぎに、本などに絵入りの解説がついている妊婦体操や分娩時のいきみ方の実習を予定しています。（体操実習を希望される方は、スポーツウェアをご用意ください）最後に妊娠検診に使われる診察台や超音波診断装置の紹介、3階にある産婦人科の病室や分娩室のご案内を致します。

あまりかたくなに思えない雰囲気です。たいと思えますので、現在当院で検診に通院中の妊婦さんはもちろん、ご主人やお姑さんなどご家族の方、あるいは新婚ホヤホヤで近い将来妊娠予定の方、さらに結婚なんてまだまだ先のことだけれど、とりあえずそっち方面の話を聞いてみようかと考える娘さんなど、どなたでも気軽にお越しください。

日時 平成11年4月27日（火）
午後2時～4時
場所 東陽病院2階産婦人科外来
対象 妊娠・分娩に関心のある人



“栗山川をもっと親しみのある川にしよう” —第3回栗山川シンポジウム—

3月14日の日曜日、光町町民会館で『第3回栗山川シンポジウム』が開催され、光町と横芝町の栗山川の環境問題などに関心を持つ約300名のみなさんが参加して熱心な意見交換が行われました。

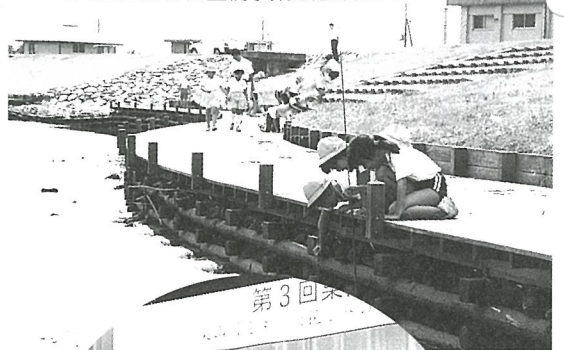
『川』は古来から人が生活するためにはなくてはならないものですが、現状をみていると「川は汚い、川は危険だ」などといったイメージを持つ人が多くなってきていることから、本来の『川』と人とのより良い関係を取り戻そうと、平成9年からこの『栗山川シンポジウム』が開催されています。

今回の『シンポジウム』では、九十九里浜の生きものの生態などを調べるために一宮川の河口に住所を移して調査・研究を行なっている、東邦大学理学部助教授の秋山章男先生による基調講演が行われましたが、秋山先生の研究では、栗山川には「フナ」や「ハゼ」をはじめ60種類以上もの魚類が生息しており、九十九里海岸にそそぐ川の中では最も種類が多いとのことでした。また「カワセミ」や「アオサギ」など鳥類の生息数も多く、私たちの身近な川が生物学的にも大変貴重な川であることが説明されました。

そして、千葉工業大学の高橋教授が座長となった意見交換では、現在実施されている栗山川の整備事業への質問や将来の川づくりへの要望など、集まったみなさんから熱心な意見が飛び交っていました。

これからも、私たち一人ひとりが『栗山川』に関心を持ち“栗山川をもっと親しみのある川”にしていきたいと思います。

自然景観を活かした整備事業が進む栗山川



栗山川に生息する魚類や鳥類などについて話す秋山先生